

授業科目名	法学			科目コード	K0203L02
英文名	Jurisprudence				
科目区分	共存・共生へのアプローチ科目 - 社会理解				
職名	教授	担当教員名	彼谷 環		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	火曜日	時限	2限目		
開講時期	3年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	「社会あるところ法は存在する」（Ubi societas, ibi ius）。法は、特定の時代の、特定の地域における価値観が大きな影響を及ぼす。現代の日本、そして世界ではどのような法が適用され、求められているのだろうか。社会と法の相互作用を確認しながら、将来、教育者や保育者を目指す者にとって必要な法的知識と価値判断について考えていこう。				
キーワード	家族	契約	紛争と裁判	生命倫理	国際法
到達目標	子どもの教育、保育、福祉に関わることを意識して、最低限理解すべき法原則について、理解できる(40%)。				
	裁判員制度の導入をきっかけに身近な存在となった法律について、制定の趣旨とその効果について理解することができる（30％）。				
	法の成り立ちから、社会制度と法の関係、グローバル社会における法の役割を理解することができる（30％）。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
		○			○
ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）			21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○		○		○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
	○				○

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイドランス——「法の世界」をのぞいてみよう。 ・世界の文明やギリシャ悲劇を題材に、自然法と実定法の区別を学ぶ。	
	【予習】法ができることとできないことについて考えてみる。	30分
	【復習】テキストや配布資料を参考に、現代社会で法が介入できる場合とそうでない場合について整理しておく。	60分
第2回	法とは何か——正義との関係、道徳との違い、法の体系	
	【予習】「法」についてどのように説明することが出来るか、考えておく。	30分
	【復習】今年成立した法律のなかで、最も関心があるものについて、その目的と概要をまとめておく。	60分
第3回	家族から考える法 ——婚姻と離婚、夫婦の権利義務 (理解度を自己確認できるようにするため、授業中にGoogle Formを使った小テストを行う。)	
	【予習】テキストを活用して、日本と諸外国の婚姻制度の違いについて調べておく。	30分
	【復習】日本の婚姻制度の特徴と問題点についてまとめる。	60分
第4回	家族から考える法 ——親子をめぐるルール、相続に関する問題 (理解度を自己確認できるようにするため、授業中にGoogle Formを使った小テストを行う。)	
	【予習】テキストを活用して、実親子関係と養親子関係のそれぞれの制度の特徴について調べておく。	30分
	【復習】最近の生殖補助医療により生じる新たな親子関係の課題についてまとめる。	60分
第5回	さまざまな契約——「契約が成立する」とは？ 問題のある意思表示 (理解度を自己確認できるようにするため、授業中にGoogle Formを使った小テストを行う。)	
	【予習】契約をめぐるトラブルの実例について調べておく。	30分
	【復習】13種類の典型契約を整理して覚える。	60分
第6回	消費生活と法——現代の消費者問題、訪問販売とマルチ商法	
	【予習】近年問題となった消費者事件について調べておく。	30分
	【復習】配布資料を参考に、薬害事件について概要をまとめる。	60分
第7回	医療と法 ——生殖補助医療の発展、妊娠・出産の自己決定(リプロダクティブ・ライツ)	
	【予習】生殖補助医療の発展の歴史をまとめておく。	30分
	【復習】最新の生殖補助医療により生じる諸問題について整理する。	60分
第8回	医療と法 ——脳死と臓器移植、安楽死と尊厳死	
	【予習】それぞれの概念の違いについて把握しておく。	30分
	【復習】日本の安楽死事件をめぐる概要と現代社会への問題提起について考察する。	60分

第9回	犯罪と法　——突然逮捕されてしまったら？　犯罪被害と罪刑法定主義	
	【予習】罪刑法定主義について調べておく。	30分
	【復習】様々な「解釈」の方法についてまとめておく。	60分
第10回	犯罪と法　——少年法の実在意義、「修復的司法」の考え方	
	【予習】少年が犯罪行為をした際、どのような手続きが取られるか調べておく。	30分
	【復習】少年法の改正の歴史とその特徴についてまとめておく。	60分
第11回	仕事と法　——職場の労働条件はどうやって決まるの？　採用と雇用の終了	
	【予習】「労働法」とは何を指すか、調べておく。	30分
	【復習】不当な解雇からの救済方法について整理しておく。	60分
第12回	仕事と法　——仕事と家庭の両立（ワーク・ライフ・バランス）、多様な働きかた	
	【予習】生活と労働の両立を図るための法律を調べる。	30分
	【復習】「働き方改革関連法」のポイントをまとめておく。	60分
第13回	子どもと法　——未成年者の意見表明権、「主権者」による政治	
	【予習】法律が示す大人と子どもの境界線について整理しておく。	30分
	【復習】諸外国の主権者教育の特徴について整理する。	60分
第14回	子どもと法　——児童虐待と犯罪被害者の支援策	
	【予習】近年問題とされる児童虐待の特徴について把握しておく。	30分
	【復習】児童虐待防止法の内容と具体的支援の方法について整理する。	60分
第15回	国際社会と法——「国際法」は法か？　グローバリゼーションと法の変化	
	【予習】「国際法」の種類について調べておく。	30分
	【復習】「子どもの権利条約」を素材として、国際法としての意義と特徴についてまとめておく。	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目 Ⅰでは、期末筆記テストで評価する（50％）。 到達目標項目 Ⅱ及びⅢでは、授業中に指定する課題を中心に評価する（50％）。 人間性：50％、 社会性：50％ なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。		
使用資料 <テキスト>	丹羽徹編『子どもと法』（法律文化社）	使用資料 <参考図書>	テーマにあわせ適宜資料を配布する。
授業外学修等	・授業のはじめに今日生起している法的ニュースを取り上げるので、各自新聞をよく読むこと。 ・授業テーマについては、テキストや資料・文献等を参考に復習を心がけること。		
授業外質問方法	時間外の質問は、メールで受け付ける。 kayatama@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	水曜2限		